

## 保証書

本製品は厳正な検査を経て出荷されており、万一保証期間内に保証規定(1)に基づき正常な使用状態での故障の際は保証規定により修理いたします。

品名	防水デジタル温度計
型式	WT-300 機番
保証期間	お買い上げ日より1年間
お買い上げ日	年 月 日
お客様	様
ご住所	TEL
取扱店名	担当章印
住所	TEL

### 保証規定

- 弊社商品が、当該商品の取扱説明書所定の使用方法及び使用条件、あるいは当該商品の仕様または使用目的から導かれる通常の使用方法及び仕様条件の下で使用され故障が生じた場合、お買い上げの日より一年間無償修理いたします。
- 次の場合、保証期間中でも有償修理とさせていただきます。
  - 誤使用、不当な修理・改造による故障。
  - 本品納入後の移動や輸送(落下等)による故障。
  - 火災、天災、異常電圧、公害、地震等外部要因による故障。
  - 接続している他の機器が原因による故障。
  - 車両・船舶等での使用による故障。
  - 消耗部品、付属部品の交換。
- ここで言う保証とは、納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害は、ご容赦願います。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

## アズワン株式会社

カスタマー相談センター

フリーダイヤル ☎ 0120-700-875

FAX 0120-700-763

問い合わせ専用URL: <http://help.as-1.co.jp/q>

受付時間: 午前9時～5時30分

土・日・祝日及び弊社休業日はご利用できません

2014年4月3版

## メンテナンス

### 警告

不具合が生じたときは、弊社、または弊社代理店に修理を依頼してください。本器を分解することは、絶対にやめてください。精度の保証ができなくなります。

電池の交換のとき、濡れた手で本体内部をさわらないでください。付着した汚れは、乾いた柔らかい布、または中性洗剤を溶かした洗剤液に漬して固く絞った布で拭いてください。絞り方が不完全な布は使わないでください。

アルコールやシンナー、ベンジンなどの揮発性溶液は絶対に使用しないでください。

## 1.特長

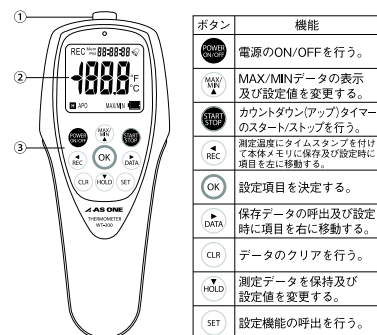
- I P X 6 規格に準拠した防水構造です。
- 測定温度と測定時間を100件まで保存可能です。
- 任意の設定温度に達し、且つ設定時間が経過した場合にブザーとLEDが点滅します。
- 測定値のホールドと最高・最低温度の測定が可能です。
- オートパワーオフ機能付です。(6.0分、解除可)
- 用途に応じて複数のセンサが選択可能です。(オプション)

## 防水デジタル温度計 WT-300

## 取扱説明書

2379903

## 2.各部の名称



- センサ取付コネクタ  
センサ取付の際は凹凸を合わせてしっかりとネジを締めてください。位置が正しく合っていないと機器の破損の恐れがあります。
- データ表示部
- 操作ボタン

### 主な画面のマーク

表示	機能
REC	測定データを本体に保存している間、点滅する。
Mem	保存データを参照している間、点灯する。
PM	時計表示にて午後の時、点灯する。
アラート	アラートモードが有効の時、点灯する。
データホルド	データホルドの間、点灯する。
APO	オートパワーオフ機能が有効の時、点灯する。
MAX/MIN	MAX/MINデータを参照している間、点灯する。
バッテリー	バッテリーの残容量を表示する。

## はじめに

この度は弊社の防水デジタル温度計をお求めいただきまして誠に有り難うございます。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。  
なお、お読みいただきました後も、この取扱説明書を大切に保存されることをおすすめします。

## 安全にご使用いただくために

本器を安全に、末永くご使用いただくために、以下の事項をお守りください。本文中の「危険」は、使用者が感電事故等を起こす可能性を避けるための記号です。  
また、「△(警告)」は、本器を長期間にわたって損傷を防ぎ良好な状態でご使用いただくための記号です。

### 危険

感電事故防止のため、電圧が印加されている線路または回路上の部品等の温度測定には本器を使用しないでください。

### 危険

損傷や火災事故防止のため、電子レンジなど、マイクロ波加熱炉での温度測定は絶対に行わないでください。

### 危険

電池は、幼児の手の届かない場所で交換、保管してください。万が一、飲み込んだ場合には直ちに医師に相談してください。  
また、使用済の電池は直ちに破壊してください。電池を加熱すると破裂する恐れがありますので、絶対に火の中へ入れないでください。

### 備考

冬期間の室外での使用は、本体の温度低下により応答速度が遅くなることがあります。  
暖房器具などの周辺でのご使用は、本体のプラスチック部の変形・故障の原因になったり、電池の消耗が常温での使用に比べて早くなります。

## 3.仕様

センサタイプ	サーミスター
LCD表示範囲	-40～+250°C
分解能	-19.9～+199.9°C:0.1°C 左記以外:1°C
測定精度	-40～+199.9°C:±(0.2°C) (本体) +200～+250°C:±(1.0°C)
使用温度	0～+50°C, 70%RH以下(但し、結露のないこと)
保存温度	0～+60°C, 80%RH以下(但し、結露のないこと)
電源	単4乾電池×2本
電池寿命	1000時間(アルカリ電池、ブザー使用無し)
オートパワーオフ機能	あり(60分、解除可)
寸法	70.0(W)×175.0(H)×40.0(D)mm
重量	約150g(本体のみ、電池含む)
付属品	防水センサ(標準センサ)、取扱説明書

### センサ仕様

型式	細径センサ	標準センサ	表面センサ
測定範囲	-40～250°C	-40～250°C	-40～250°C
測 定	±0.8°C	±1.4°C	±1.0°C
精 度	±2.3°C	±2.5°C	±2.8°C
測 定	±3.0°C	±3.0°C	±3.2°C
度	±4.0°C	±4.0°C	±4.2°C
温度センサ素子	サーミスタ		
センササイズ	φ2×150mm	φ3×150mm	φ16×100mm
防水性	I P X 7 準拠 防水無し		

## 4.電池の挿入

電池は単4乾電池2本をご用意ください。まず本体を裏返し本体裏にある電池蓋のネジ3本をドライバー等で外します。本体から電池蓋を外し、新しい電池を極性に注意して装填して下さい。電池装填後は電池蓋を元に戻し、3本のネジをもとの通りにしっかりと締め直してください。

電池交換後は時計をはじめとする設定がクリアされてしまいますので、新たに設定をしておいてください。  
長期間本器を使用しない場合は本体から電池を取り外していただき、液漏れの原因となります。

## 危険

直射日光のあたる場所でのご使用、夏期の車内での放置はやめてください。  
極端な温度変化のある環境でのご使用は、結露の原因になりますので、注意してください。

## センサコードの使用について

### 危険

センサの故障(断線)の原因になりますので、コードを強く引っ張ったり、コードの上に重たい物を置かないでください。

## センサについて

### 危険

冷凍した食肉など、堅い固形物の測定るとき、無理にセンサを押し込んだり、余分な力をかけないでください。センサが曲がったり、折れて怪我をしないように注意してください。  
センサのステンレス部先端は、固形物に刺し込んで測定するために尖っています。使用しないときは、必ず付属の保護キャップをはめて保存してください。

### 警告

センサのステンレス部以外は水や蒸気等につけてご使用されるとセンサ内部に浸透し、故障の原因となります。

### 警告

センサを測定対象物に刺した状態で高温を長時間にわたって測定したとき、センサ先端の感温部の周辺が熱くなることがあります。また、温度の計測範囲はセンサのみに適用されます。グループやケーブル類は、特に表記がない限り70°C以上の温度下で使用しないでください。

## 防水について

### 警告

本体は防水構造なので濡れた手でのご使用や水洗いする事はできませんが、水に浸すような使用はおやめください。故障の原因となります。

## 5.電源のON/OFF

### (1)電源ON

POWER/ON/OFF ボタンを押すと、電源がONします。ここでLCD表示が全点灯し表示のチェックができます。(ボタンを押し続ける事によりLCD表示の全点灯時間を延長する事ができます。)

### (2)電源OFF

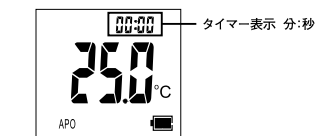
POWER/OFF ボタンを押すと、電源がOFFします。

## 6.各種の設定

SET ボタンを2秒間押し続けると、設定モード画面に切り替わります。  
各モード設定の変更は以下の様になります。  
【タイム設定】⇒(OK)⇒(SET)⇒【アラート設定】⇒(OK)⇒(SET)⇒【時計設定】⇒(OK)⇒温度表示へと切り替わります。  
なお、設定中に【タイム設定】【アラート設定】は約10秒間【時計設定】は約1分間何もボタン操作せず経過すると自動的に温度表示へと切り替わります。

### (1)タイマー設定

任意の時間を予め設定しておき、設定時間経過後にブザー音とLEDを点滅させる事ができます。



タイマー設定モードに入ると、タイマー表示部の「分」が点滅してタイマー時間を設定する事ができます。設定は【00:01】～【99:59】まで可能です。

**(HOLD)** ボタンを押す事で点滅している箇所のタイマー値を設定することができます。ボタンを長押しする事で設定値を早送りすることができます。

**(REC) (DATA)** ボタンを押す事で設定する箇所を [分] ⇄ [秒] に移動することができます。選択されている項目は点滅しています。

**(CLR)** ボタンを押す事で設定値をクリア [00:00] する事ができます。

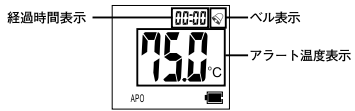
**(OK)** ボタンを押す事でタイマー表示部の点滅が止まり、タイマー設定が完了します。

再び設定を変更したい場合は **(HOLD) (REC) (DATA)** の何れかのボタンを押すとタイマー表示部の「分」が点滅しタイマー設定値の変更が可能です。

**(SET)** 全ての設定が完了した後、「SET」ボタンを押す事でアラート設定に進みます。

※アラートを有効にしている場合 ( **( )** が点灯している状態 ) はアラート動作が優先となりタイマーを使用する事はできません。

(2) アラート設定  
任意の温度と時間を予め設定しておき、測定物の温度が設定温度に到達し、且つ設定時間が経過した後にはブザー音とLEDを点滅させる事が可能で、食品の衛生管理等に非常に便利な機能です。



アラート設定モードに入ると、経過時間表示部の「分」が点滅し経過時間を設定することができます。設定は [00:01] ~ [99:59] まで可能です。また点滅箇所を移動する事でアラート温度設定となり、設定は [-40°C] ~ [250°C] まで可能です。

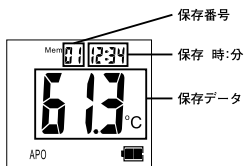
(3) レコードモード  
現在データ表示部に表示されている温度に時刻データ (時:分) を付けて本体内部メモリに保存する事ができます。保存は100件まで可能で後からの呼出もできるので温度管理等に便利です。

**(REC)** ボタンを押すとデータ表示部に REC が点滅し、本体内部メモリに測定温度と時刻を記録します。保存は100件まで可能で、100件を超えると「Mem FULL」と表示され保存件数がオーバーした事を示します。この場合はデータの保存を行いません。

Mem FULL状態: Mem FULL

(4) レコードデータの呼び出し  
レコードモードで保存したデータは通常の温度測定状態からいつでも呼び出す事ができます。

**(DATA)** ボタンを押すとデータ表示部に Mem が点灯し、本体内部メモリに保存されたデータを呼び出す事ができます。もう一度ボタンを押すとデータ表示部の Mem が消灯し、通常の温度測定状態に戻ります。



**(HOLD)** ボタンを押す事で保存データを切り替える事ができます。保存番号は [00] ~ [99] までで、[99] まで表示した後は [00] に戻ります。

**(HOLD)** ボタンを押す事で点滅している箇所の経過時間及びアラート温度を設定することができます。ボタンを長押しする事で設定値を早送りすることができます。

**(REC) (DATA)** ボタンを押す事で設定する箇所を [分] ⇄ [秒] ⇄ [アラート温度] に移動することができます。選択されている項目は点滅しています。

**(CLR)** アラート値を設定している時に押す事で設定値をクリア [00:00] [00°C] する事ができます。

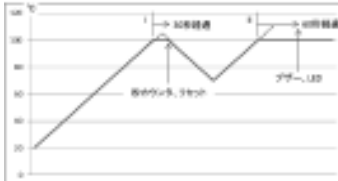
**(SET)** ボタンを押す事で **( )** マークが点灯、消灯を繰り返しアラートモードの有効/無効を切り替える事ができます。(温度表示状態でも切り替え可能)

**(OK)** ボタンを押す事で各表示部の点滅が止まり、アラート設定が完了します。

再び設定を変更したい場合は **(HOLD) (REC) (DATA)** の何れかのボタンを押すと経過時間表示部の「分」が点滅しアラート設定値の変更が可能です。

**(SET)** 全ての設定が完了した後、「SET」ボタンを押す事で時計設定に進みます。

アラート動作例  
経過時間設定を60秒、アラート温度を100°Cと設定した場合。

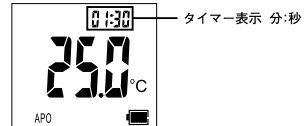


**(CLR)** ボタンを押すと、現在表示中の保存データが1件削除され、表示データが [1---] となります。また、長押しすると保存データが全て削除されます。

(5) タイマー機能  
タイマー設定にて予め設定した時間に応じてカウントダウンタイマーとしての使用が可能です。設定した時間が [00:00] の場合はカウントアップタイマーとして使う事もできます。

**(STOP)** ボタンを押すと時計表示がタイマー表示に切り替り設定値のカウントがスタートします。設定時間が経過後、ブザーとLEDの点滅と同時にカウントアップが開始されます。カウントアップが60秒間続くと、任意のボタンを押す事によってブザーとLEDの点滅が止まります。カウントの途中で「START/STOP」ボタンを押すとカウントを停止する事ができます。再び「START/STOP」ボタンを押す事でカウントを再開したり

**(CLR)** ボタンを押す事により最初からカウントをスタートする事もできます。カウントが停止している状態で10秒間なにもせずにいるとタイマー表示が時計表示に戻ります。



※アラートを有効にしている場合 ( **( )** が点灯している状態 ) はアラート動作が優先となりタイマーを使用する事はできません。

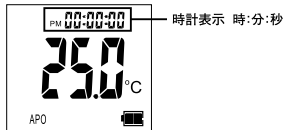
## 8. その他の機能

(1) オートパワーオフ機能  
オートパワーオフ機能が有効の場合は何も操作しない状態が60分続くと、自動的に電源をOFFします。

i 測定温度が 100°C に到達した時点から時間のカウントを開始。30秒経過後に測定温度が 100°C を下回った為、時間カウントを中止し、カウントをリセット。

ii 再び、測定温度が 100°C に到達した時点から時間のカウントを開始。設定した 60秒に達した時、ブザー音と、LEDの点滅を開始。ブザー音とLEDの点滅は任意のボタンを押す事で、停止できます。

(3) 時計設定  
本器に現在時刻の設定を行います。

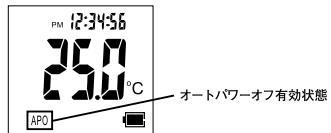


時計設定モードに入ると、時計表示部の「時」が点滅し現在時刻を設定することができます。設定時刻が午前の場合は [空白]、午後の場合は [PM] を表示します。

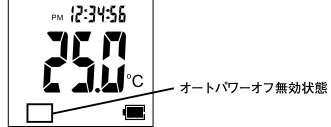
**(HOLD)** ボタンを押す事で点滅している箇所の時刻を設定することができます。ボタンを長押しする事で設定値を早送りする事ができます。また、秒の位置で押しした場合は「00」に数値がリセットされ、正確な時刻合わせができます。

**(REC) (DATA)** ボタンを押す事で設定する箇所を [時] ⇄ [分] ⇄ [秒] に移動することができます。選択されている項目は点滅しています。

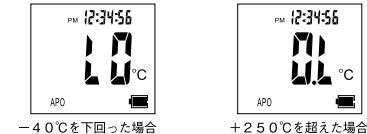
**(OK)** ボタンを押す事で各表示部の点滅が止まり、時計設定が完了します。



**(POWER) (HOLD)** 電源OFFの状態から、「POWER」ボタンと「HOLD」ボタンを同時押しするとオートパワーオフ機能を無効にすることができます。



(2) オーバーフロー表示  
測定表示範囲を超えた場合、以下のメッセージを表示します。



(3) バッテリー残量表示  
バッテリーの残量に応じて表示が変化し、おおよかな稼働時間を判断することができます。

- 状態1: バッテリー残量が十分な状態。
- 状態2: バッテリー残量が少ない状態。
- 状態3: バッテリーの交換が必要な状態。

## 7. 測定機能

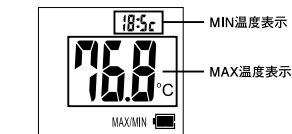
センサを測定物に当てて温度測定を行います。測定した温度はデータ表示部に表示されます。

(1) ホールド表示  
測定値を一時的に保持する事ができます。表示を読み取る時等に便利です。

**(HOLD)** ボタンを押すとデータ表示部に **(H)** が点灯し、測定した温度をデータ表示部に保持する事ができます。もう一度ボタンを押すと、データ表示部の **(H)** が消灯し保持状態が解除されます。

(2) MAX/MIN表示  
電源投入後から測定した温度の最大値と最小値を表示する事ができます。

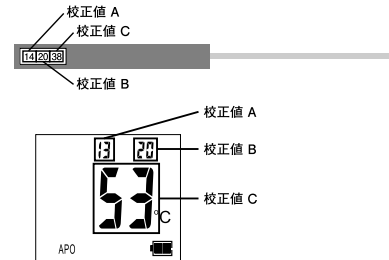
**(MAX) (MIN)** ボタンを押すとデータ表示部に MAX/MIN が点灯し下記の様に最大値と最小値を表示する事ができます。もう一度ボタンを押すと、データ表示部の MAX/MIN が消灯し通常の温度測定状態に戻ります。また何もせずに5秒経過しても通常の温度測定状態に戻ります。



**(CLR)** ボタンを押すと表示されている MAX/MIN のデータがクリアされ「---」表示となり3秒間経過後に通常の温度測定状態に戻ります。

(4) 校正モード  
センサ部の故障や測定種別に応じてセンサのみを交換した場合、校正を実施する事により保証された測定精度を保つ事ができます。(予め温度計本体に添付されていたセンサについては校正の必要はありません)

センサの校正値についてはセンサのグリップ部分に記載されています。



**(POWER) (CLR)** 電源OFFの状態から、「POWER」ボタンと「CLR」ボタンを約3秒間同時押しすると校正モードに入ります。

**(HOLD)** ボタンを押す事で点滅している箇所の校正値を設定することができます。ボタンを長押しする事で設定値を早送りする事ができます。

**(REC) (DATA)** ボタンを押す事で設定する箇所を [校正値A] ⇄ [校正値B] ⇄ [校正値C] に移動する事ができます。選択されている項目は点滅しています。

**(HOLD) (POWER)** 全ての校正値入力完了した後「POWER」ボタンを押すと、校正モードが終了し通常の温度測定モードとなります。